

市内分の P C B 廃棄物の搬入について

日本環境安全事業(株)北九州事業所は、平成 1 6 年 1 2 月に操業を開始し、安全を最優先に北九州市内の P C B 廃棄物の処理を進めてまいりました。

北九州市内のトランス及びコンデンサにつきましては、操業開始から 2 年間を目処として処理する計画で操業を進め、1 期施設で処理が可能な P C B 廃棄物が市内に少なくなっていきました。平成 1 8 年 1 1 月末までの搬入状況を報告いたします。また、P C B 廃棄物の早期処理及び処理施設の安定操業の観点から、平成 1 8 年 1 2 月下旬より処理対象地域を福岡県内に拡大することについてご理解いただきますようお願い申し上げます。

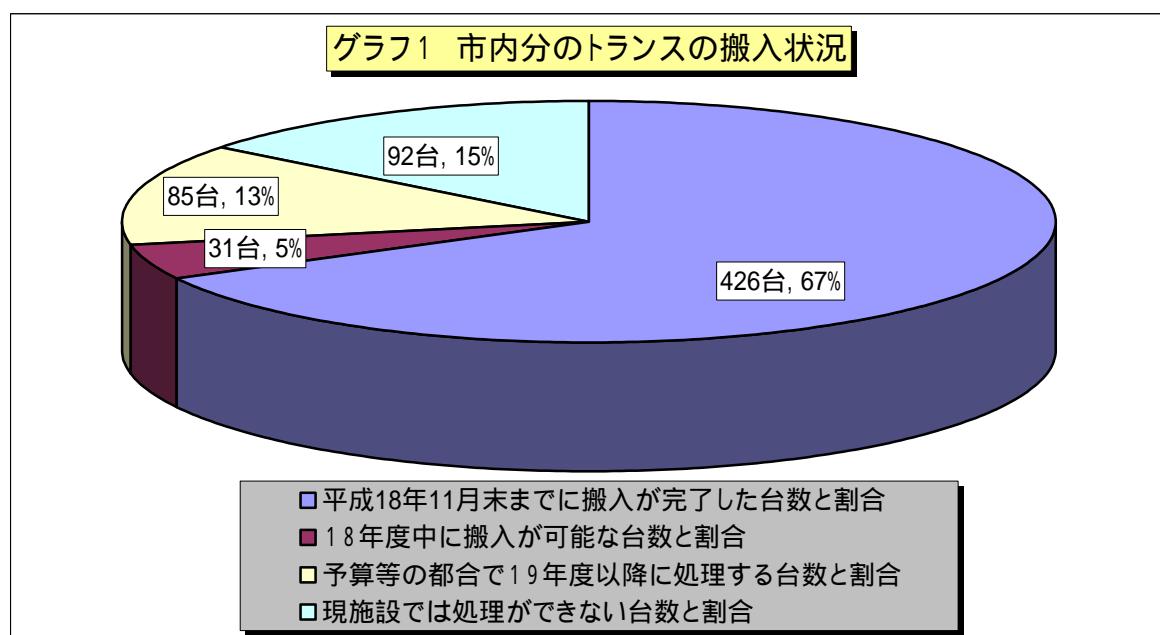
1 トランスについて

試運転から平成 1 8 年 1 1 月末までに 4 2 6 台^(注 1)の市内のトランスの搬入が終了しました。施設の処理計画台数である月に 2 4 台の処理を順調に進めております。

市内のトランスの中には当社の処理対象ではない微量の P C B を含むトランスがあることが現地調査により判明いたしました。また、現在も使用されているものや経済的理由により早期処理を希望しない保管事業者が保管しているものもあります。

そのため、市内においては、今年度中に搬入が可能なトランスが 3 1 台しかない状況でございます。その 3 1 台については、1 8 年度中に計画的に搬入いたします。

トランスの搬入状況はグラフ 1 に表記します。



(注 1) 4 2 6 台とは別に 9 月から福岡市内のものが 3 2 台搬入されています。

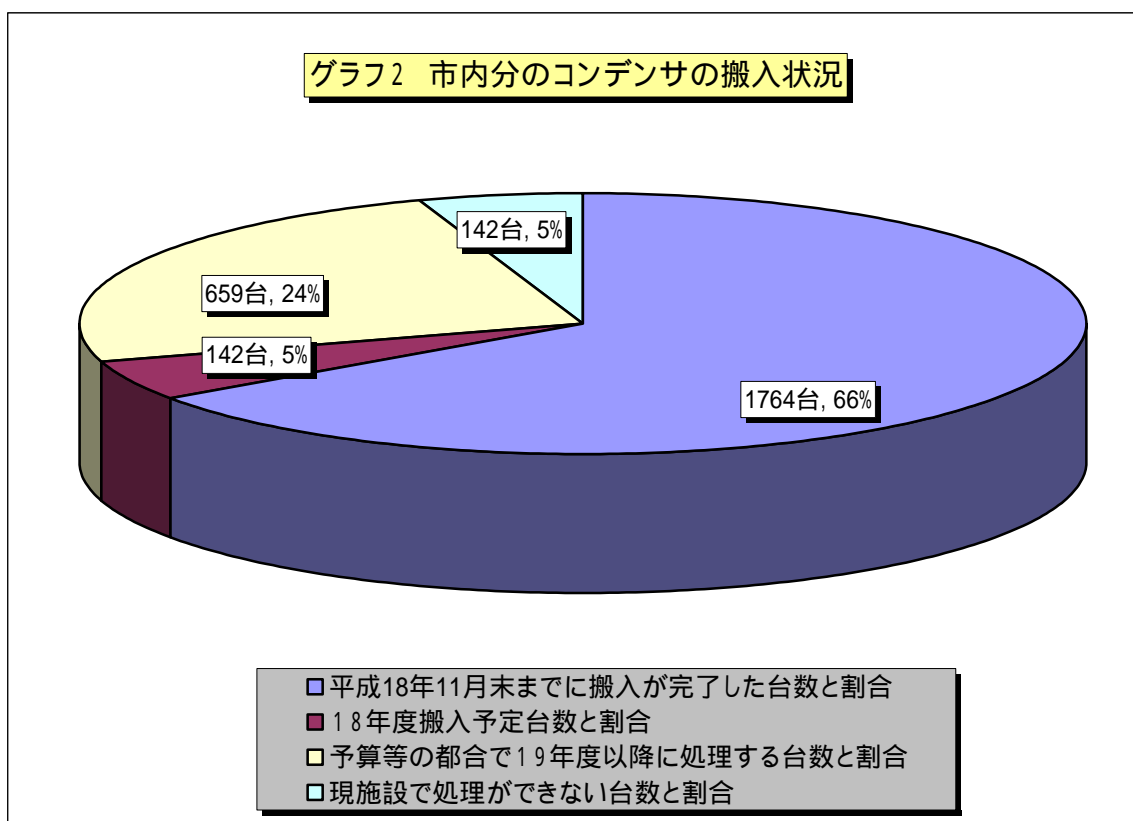
2 コンデンサについて

試運転から平成18年11月末までに、1764台のコンデンサの搬入が終了いたしました。施設の処理計画台数である月に96台の処理を順調に進めております。

コンデンサにつきましても、漏洩しているものなど1期施設で処理ができないものがあることが現地調査により判明いたしました。また、現在も使用されているもの及び経済的な理由により早期に処理を希望しない保管事業者が保管しているものもあります。

そのため、市内においては、今年度中に搬入が可能なコンデンサは142台しかない状況でございます。この142台中、既に当社との契約が終了し、ルート回収の搬入計画を策定中のものが73台、当社との契約手続き中のものが69台あり、いずれのものも18年度中に計画的に搬入する予定であります。

コンデンサの搬入状況はグラフ2に表記します。



3 19年度以降の処理について

19年度以降につきましては、市外のPCB廃棄物の処理を予定しておりますが、市内の保管事業者の事情に応じつつ引き続き北九州市内のものを優先して処理を行い、北九州市内のPCB廃棄物の早期処理に努めてまいります。